

平成26年10月1日
国土交通省 八代河川国道事務所

八の字堰復元に使用する巨石の提供者を募集します

国土交通省八代河川国道事務所では、球磨川下流域の自然再生の一環として、瀬・淵が連続する多様な流れを再生し、かつてのようにアユ等の魚類が豊富な環境とするべく、河床デザインの検討を進めてきました。

特に、遙拝堰直下については、度重なる出水により河床が浸食され、かつて存在していた瀬が消失しつつあります。また、河口域に一番近いアユの生息場所であり、対応が必要な箇所です。

そのようなことから現在、遙拝堰直下において加藤清正由来の八の字堰の形状を巨石（2トン程度以上）による石組の工事を実施することとしています。

つきましては、洪水時に流されないような大きな石で、アユ等の魚類が好む自然素材の巨石を確保する必要があり、球磨川及びその周辺で確保できる巨石の量の把握並びに提供者（無償提供者を含む）を募集します。

詳細な募集要件や申し込み方法等については、八代河川国道事務所 河川環境課にお問い合わせいただくか、八代河川国道事務所ホームページを参照ください。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/yatusiro/>

※応募申込書は八代河川国道事務所河川環境課、または別紙の球磨川流域市町村の担当窓口で受け取りができます。

環境再生のための八の字堰の復元

遙拝堰下流の瀬の再生を図るべく、「球磨川下流域環境デザイン検討委員会」において、瀬の再生デザインを検討しています。

アユを代表とした生態系の生息環境に配慮した河床デザインとし、加藤清正由来の旧遙拝堰（八の字堰）の形状復元につとめます。

遙拝堰 『領内名勝図巻 第十巻 求麻川筋（1793年：寛政5年）』



加藤清正が造った遙拝堰に最も近い姿は、旧熊本藩主細川家が所蔵している文物『領内名勝図巻』に描かれたものと考えられる。作者の矢野良勝は、細川時代のお抱え絵師であり、雪舟の技法に習い、大胆な筆使いながら細い部分も極めて写實的に描く作風であった伝えられている。この遙拝堰は、画中の墨書から、右岸側から堰を見た風景であると推察される。

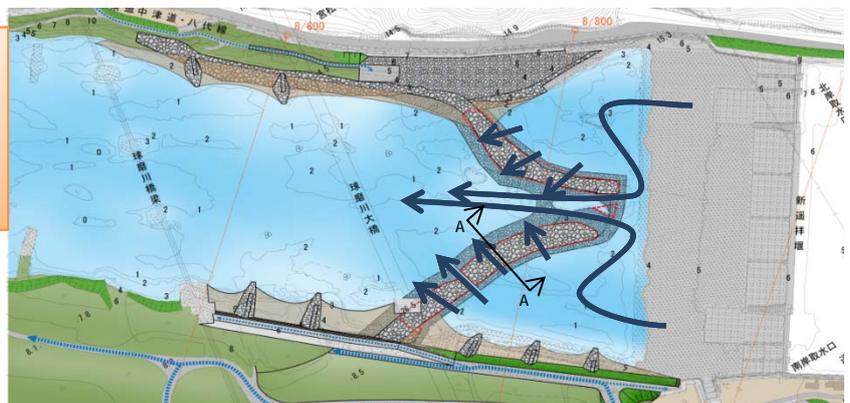
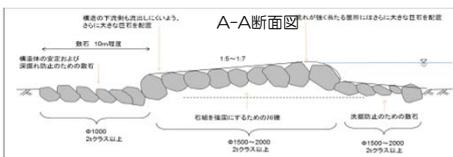
昭和30年代の八の字堰（旧遙拝堰）



加藤清正由来の八の字堰復元イメージ

【河床デザインの方向性】

- ◎昭和8年の測量図を基本とした八の字形状
- ◎巨石を使用した流出しにくい群体構造
- ◎構造安定性および洗掘・深掘れ防止のための敷石
- ◎平常時の両岸側からの放流に配慮した水通し部（昭和8年は流頭部と左岸側に水通し部があったが、現代の流況にあわせて改変）
- ◎左岸側の護岸形状を改善



■問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 河川環境課長 工藤 勝次
TEL (0965) 32-7134

応募申込書の受け取り窓口

八代河川国道事務所	河川環境課
八代市役所	企画政策課
八代市役所 坂本支所	総務振興課
人吉市役所	総務課 秘書広報係
芦北町役場	企画財政課
錦町役場	企画観光課
あさぎり町役場	総務課
多良木町役場	企画観光課
湯前町役場	総務課
球磨村役場	総務企画課
相良村役場	総務課 企画情報係
山江村役場	企画調整課
五木村役場	総務課
水上村役場	企画観光課

「八代河川国道事務所」の自然再生事業に伴う球磨川の自然石の提供者募集について

1. 募集の趣旨

国土交通省八代河川国道事務所では、球磨川下流域の自然再生の一環として、瀬・淵が連続する多様な流れを再生し、かつてのようにアユ等の魚類が豊富な環境とするべく、河床デザインの検討を進めてきました。

特に、遙拝堰直下については、度重なる出水により河床が浸食され、かつて存在していた瀬が消失しつつあります。また、河口域に一番近いアユの生息場所であり、対応が必要な箇所です。

そのようなことから現在、遙拝堰直下において加藤清正由来の八の字堰の形状を巨石（2トン程度以上）による石組の工事を実施することとしています。

つきましては、洪水時に流されないような大きな石で、魚類生息に適した巨石を確保する必要があり、球磨川及びその周辺で確保できる巨石の量の把握並びに提供者（無償提供者を含む）を探しています。

2. 募集要件

(1) 応募出来る方

①アユ等の魚類の好む自然素材の巨石（珪藻類、藍藻類が生息する）を所有されている方（無償で巨石を提供される方歓迎）

(2) 提供の要件

①巨石（2トン程度以上）が1,000m³程度*提供が可能であること。

（※無償提供の場合は、巨石2トン程度以上であれば数量に制限はありません。）

②巨石保管箇所が遙拝堰までの運搬距離80km未満に位置していること。

③巨石保管箇所に大型ダンプトラック（10t車）の進入、巨石の搬出ができること。

(3) 巨石の規格

①巨石1個の大きさは2トン程度以上

②巨石の材質はアユ等の魚類の好む川起源の自然素材

3. 応募方法

(1) 応募期間：平成26年10月1日～平成26年10月31日

(2) 必要書類：次の書類を郵送又は持込にて提出してください。

①応募申込書 → 別紙

②巨石の様子が分かる写真（石の大きさ、石の個数など）

4. その他留意事項

- ・応募後、書類確認・現地確認・ヒアリング等を実施させていただき、巨石の状態や巨石の量等の把握調査を行います。
- ・本応募は球磨川及びその周辺における巨石の利用可能性を把握するための調査です。
- ・提供者の応募をもってすぐに使用を決定するものではありません。今後の予算や工事発注の手続き状況をみながら調整することとなります。
- ・熊本県暴力団排除条例に該当するものは応募できません。

5. 問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所

〒866-0831 熊本県八代市萩原町1丁目708-2

電話：0965-32-7134

FAX：0965-32-1608

担当：河川環境課 工藤、村岡

応募日 平成 年 月 日

応募申込書

住 所：
会 社 名：
代表者名：
電 話：
担当者名：

巨石の大きさ	(例：〇トン、直径〇m等)
提供可能量	(例：〇m ³ 、〇個等)
提供の方法	有償 無償 (どちらかに〇を記入)
巨石保管箇所の住所	
巨石保管箇所の地図	地図を貼り付けてください。 別紙で提出していただいても結構です。

※巨石の様子が分かる写真（石の大きさ、石の個数など）を添付願います。

問い合わせ及び提出先

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所
〒866-0831 熊本県八代市萩原町1丁目708-2
電話：0965-32-7134
FAX：0965-32-1608
担当：河川環境課 工藤、村岡